

令和3年度 指定管理業務 評価票

箕面公園	【指定管理者】 メイプルハーツ企業共同体	【指定期間】 平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日	【所管課】 池田土木事務所 都市みどり課
------	-------------------------	---------------------------------	-------------------------

【管理状況(概観)】
 ○施設の設置目的に沿い、適切に公園を運営した。昆虫館においては、他館と連携した企画展の開催や、生態展示の充実等を実施し、紅葉シーズンにはライトアップ等のイベントを積極的に実施し、利用者の増加に努めた。
 ○施設の維持管理は良好で、当初目標数値を満たす危険木処理のほか、積極的な掛枝等の処理により安全を確保し、事故の未然防止に取組み、NPO法人等と連携しながらモミジの再生にも取り組んだ。
 ○利用者満足度調査の全体的な満足度については非常に良好であり、管理体制については管理業務を遂行する上で大きな問題は見られなかった。
 ○新型コロナウイルス感染症の対応については、閉館中にはYouTubeチャンネルによるオンラインイベントを開催し、府営公園利用料金施設で初めてキャッシュレス決済を導入する等、先進的な取組みが見られた。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の 自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
------	--------------	----------------	----	----------	----	-----------------

I 提案の履行状況に関する項目

(1) 施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	公園利用者の利便性の向上がなされたか(応募時に提案した利用者増加のための工夫がなされたか、魅力的なプログラムに取り組んだか。スポーツ施設等の稼働状況を踏まえた、今後の運営への反映に取り組まれているか。) ※公園を特徴づける有料施設等の稼働率の確認。来園者数の確認。 ※イベント等の実施回数及びイベント等の参加者数の確認。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	収益事業の実施状況(応募時に提案した収益事業に取り組んでいるか、また、その実施状況について確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか(接客等の職員研修の実施状況、苦情件数や対応処置の記録についての確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
草地管理、芝生地管理、樹木管理、花壇管理について、良好な管理を行ったか(頻度・時期及び技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。利用や景観への配慮がなされているかの確認。)	<p>○危険木処理 186本 危険木を特別巡視で点検、積極的に処理した。</p> <p>○倒木処理 25本</p> <p>○掛り枝処理 195本</p> <p>○落ち枝処理 61本</p> <p>○除草 27回実施</p> <p>○ヨウシュヤマゴボウなど単独繁茂植物剪定・伐採(植栽モミジ周辺)</p> <p>○バタフライガーデン、からくり時計前花壇整備、季節毎花壇整備</p> <p>○昆虫館ロビー横フジバカマ移設(アサギマダラ観察用)</p> <p>【自己評価】 ○危険木については、平成29年・30年と連続して襲来した台風により表土は緩み、根切れなどによる不健全木も増加、今年度も巡視や専門員による特別巡視により点検を強化、積極的に処理した。長雨や暴風により根返りや幹折れの倒木が発生、千本園路など3エリアを多発箇所として土木事務所に危険木調査を提案した。また、外注の専門業者による目視での危険木調査を行い、発見した危険木は優先度の高いものから処理した。 ○掛り枝については、昨年発生した落枝事故を受け、今年度は高所の巡視点検を強化、滝道千本園路は月に4回以上、散策路は月に2回以上高所を点検、掛り枝の発生箇所を園内15カ所のエリアに分類、情報を共有することで発見の精度を向上させ、4~11月で掛り枝を142本(昨年35本)処理した。 ○からくり時計前は季節ごとに花壇を整備、昆虫館ロビー前では9月にフジバカマの鉢を設置、多くの来園者がアサギマダラ(蝶)を観察した。</p>	<p>S</p> <p>落枝対策として、昨年度(2月末時点65本)を大きく上回る数の掛枝(2月末時点195本)を処理した。 また、掛枝等の発生状況を園内15カ所のエリアで分類、情報共有することで、発見の精度を向上させたことは、高く評価できる。</p>	S	施設所管課評価は適正である。 昨年度発生した落枝による事故を受け、巡視を強化する等、危険木対策に関する取組みは高く評価できる。		

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の 自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
					評価	
(4) 施設の 維持管理の 内容、適格 性及び実現 の程度	園内清掃について、良好な管理を行ったか(頻度・時期及び技術について確認。利用や美観への配慮がなされているかの確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	プールの運営、維持管理について、良好な管理を行ったか。					
	運動施設について、良好な管理を行ったか(頻度および技術について確認)。					
	特殊庭園について、良好な管理を行ったか。(頻度・時期及び技術について確認。将来も含めた植物の育成が図られているかの確認。)					
	重要公園施設について、良好な管理・運営を行ったか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「企画展」の開催、生体展示の充実、他館との協働 ・魅惑のいもむし・けむし展 ・むしのかたち・うごきのしくみ ・世界の蝶 ・ツシマウラボシシジミ一般公開 ・カブ・クワ展 ・秋の鳴く虫展 ・服部緑地植物園展示協力 ・伊丹昆虫オンラインイベントへの参加 ○昆虫館だより発行 ○昆虫クラブ 昆虫DIYの開催 ○外部講演・移動昆虫教室・学校等受入 ○NHK等へのメディア出演及び広報 ○サイエンスラポ2ndの開催 ○インタープリター講座修了者によるイベント運営の協力 ○オンライン配信 ・YouTubeにて、「箕面公園昆虫館チャンネル」適宜更新 SNSでも発信 ・閉館中：あかぬなら・すべて見せよういも・けむし展 ・開館中：むしのかたち2回、害蟲展 ・オンラインイベント「むしのかたち」2回 ・オンラインイベント「害蟲展」 ○みのおQZモール(店舗空き期間中) 昆虫館PRシート掲示 ○昆虫館入館料、ミュージアムショップで非接触決済導入 ○昆虫館映像コーナープログラム入れ替え ○入館者数 55,297人 ○企画展アンケート実施 310枚回収 <p>【自己評価】</p> <p>緊急事態宣言下、昆虫館での通信環境を整備し、「開かぬなら・すべて見せよういも・けむし展」をライブ配信。再開後もオンラインイベントを積極的に開催、SNSでも発信。感染対策を万全に準備再開した昆虫館では、生体展示と組み合わせた展示が高く評価され、7月の入館者は7,681人と過去最高。企画展は第14回まで連続開催。昆虫クラブ等のイベントも人数を制限して開催。</p>	S	昆虫館休館期間中には昆虫館企画展の代替として、また、開館後には集客増加を目的にYouTubeを活用したオンラインイベントを開催した。また、本イベントのために昆虫館館内の通信環境を整備した。また、府営公園の利用料金施設で初めてキャッシュレス決済を導入し、利用者サービスを向上させた。この結果、緊急事態宣言解除後の6月21日から2月末までの利用料金収入が、H31年度比で3.8%、R2年度比で5.8%増加していることは、高く評価できる。	S	施設所管課評価は適正である。昆虫館にて感染症対策を講じながら実施した活性化の取組みより来園者が大幅に増加したことは高く評価できる
	管理対象外施設である海岸管理者との連携や海岸利用者について応募時の提案を実施できたか。					
	自然環境の維持創出、自然環境学習の取組について応募時の提案を実施できたか。	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	利用者の安全確保対策の具体的方策(日常巡視や定期点検、瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適格に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
危機管理体制(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。	

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の 自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
					評価	
(5) 府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。 ①府公益事業への協力②就労支援③障がい者雇用率④知的障害の継続雇用⑤府民参加・NPOとの協働⑥環境問題	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
	新型コロナウイルス感染症に対して、基本的な事項を講じ、適切に実施できたか(感染拡大防止に向けた対策の実施、府民への周知が適切なタイミング・手法で実施されたか)。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 滝前のベンチにコーンを設置、距離を取って座るように制限。 家族・小グループ単位で参加可能な自然観察・週末ウォーキングなど野外イベントは、感染対策を徹底し開催。 コロナ追跡システムを公園入口、昆虫館前などに掲示。昆虫館ではパンフレットに添え全員に配布。 HP、昆虫館広報誌、シティライフなど様々な手段で感染防止策の内容、入館制限などをわかりやすく発信。 昆虫館飼育スタッフは2チームの編成を継続、感染防止策を取った。 昆虫館の入口、館内などに案内スタッフを増員、入館制限や体温測定、消毒作業を実施。検温センサー及びサーマルカメラの設置。 排煙窓を開放して換気、CO2測定器を導入1000PPM以下になるように監視。 料金徴収、ミュージアムショップに非接触決済PayPay導入 休館時からオンラインイベントを実施、その後も積極的に開催。 <p>【自己評価】</p> <p>9月まで断続的に緊急事態宣言が続き、大規模イベントは中止となったが、小規模イベントは感染防止対策を徹底し開催。緊急事態宣言中からオンラインライブ配信を強化、HPや広報誌により感染防止対策を周知。緊急事態宣言期間外でも、期間中と同様の対応を継続している。</p>	A	国や各種業界団体が示す感染拡大予防ガイドラインに沿い、感染拡大防止に向けた対応を適切に実施した。	A	施設所管課評価は適正である。
II さらなるサービスの向上に関する事項						
(1) 利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。 これを受けてより満足度を向上させるために、どのように取り組むか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 総合的評価として「全般的な満足度」1.66の評価をいただいた。 設問ごとの評価 樹木管理1.4 草刈り1.5 花壇1.5 ゴミや掃除1.8 職員の対応1.6と高評価。 高齢者や障害者などへの配慮1.0 売店などサービス施設0.9 イベントの種類や数1.0 だったが、それぞれ満足度は向上した。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 樹木管理については、危険木、掛り枝等の毎日の点検・処理情報を朝礼で共有・検討し計画的に実施、今後も継続する。 ゴミや掃除についても巡視点検での清掃を強化している。問題箇所を共有し計画的に清掃を実施する。 トイレについては滝前と瀧安寺広場トイレが改装され、清掃方法を業務委託先と協議、改善を指導した。清掃用具入れを整備、掃除のしやすさにも配慮し改善を図る。 職員の対応については、自転車を通行禁止措置に加えたことで、トラブルは減少した。危険・禁止行為等への対応は、マニュアル化し共有を進める。 高齢者に配慮しわかりやすい看板を掲示した。転倒防止のため、傷んだ路面は迅速に応急舗装を実施、鉄橋についても隙間の養生を実施した。今後も高齢者の目線での点検に努める。 売店については、本年度からPayPayを導入。キッチンカーは紅葉シーズンから店舗を入れ替えてサービスを提供、引き続きメニューなど検討していく。 コロナ禍でも実施可能なイベントを人数を制限し実施。休館中からオンラインイベントを積極的に実施、今後も実展示と効果的に組み合わせる。 	S	公園の全般的な満足度は1.66で、非常に高い評価を得ている。	S	施設所管課評価は適正である。
	前年度のアンケート結果に対して、より満足度を向上させるために、どのような取組を行ったか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 樹木管理については、危険木、掛り枝等の点検情報を毎日の朝礼で共有。作業班と検討し迅速に処理した。 ゴミや掃除については巡視点検で発見した箇所を共有し計画的に清掃した。 トイレについては新しくなった滝前と瀧安寺広場トイレの清掃方法を業務委託先と協議、改善を指導した。巡視による点検・清掃も清掃用具などを整備し実施した。 高齢者に配慮したわかりやすい看板を掲示。紅葉シーズンを前に転倒防止のため傷んだ路面を応急舗装、鉄橋隙間の養生を実施。 危険・禁止行為等への対応では、マニュアルを作成、丁寧な対応を心がけた。 売店については、本年度から非接触決済PayPayを導入、キッチンカーは紅葉シーズンに店舗を入れ替え、売り上げが増加した。トイレの清掃については業務委託先に改善を指導、巡視点検でのゴミ清掃、情報を共有、改善に努めた。 <p>【自己評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でも実施可能なイベントを実施、休館中からオンラインイベントを積極的に実施した。売店は10月から非接触決済PayPayを導入、キッチンカーは紅葉シーズンに店舗を入れ替え、売り上げが増加した。トイレの清掃については業務委託先に改善を指導、巡視点検でのゴミ清掃、情報を共有、改善に努めた。 	A	便所清掃については、府による改修工事後、清掃方法を業務委託先と協議・改善指導を行うことで、快適な環境を維持し、評価が改善した。 また、依然として課題ではあるものの、コロナ禍でありながら、オンラインイベント等の代替手段を用いることで、評価が改善したことは、評価できる。	A	総合的な満足度は概ね良好であり、適切な管理運営であると認められる。

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の 自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の 指摘・提言
					評価	
(2) その他 創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「まちやまアプリ」の開発、普及 ・園内インフラ整備に伴い、箕面公園公式アプリ「まちやまナビ」を開発、H31年4月～一般ダウンロード開始した。英文併記とした箕面公園Map情報を搭載した。 ・アプリを活用しSNS参加型写真コンテストを開催。104点の応募があり、昆虫館のロビーモニターで展示した。 ○滝前保安カメラの設置 ・滝前に設置した保安カメラの映像を常時パークセンターでモニタリングすることに加え、箕面川増水時等において、パークセンターからリモートで滝前広場周辺に注意喚起が可能となる放送設備を新設する(滝前広場とパークセンターをつなぐ安心安全システムの拡充)。 ・滝前の保安カメラの情報や昆虫館前に設置している測域レーザー人数カウンターにより滝道の通過人数等をリアルに把握し、公園内2.4キロメートルの滝道の人の流れをトータルでモニタリングし、危険予知・事故回避に迅速に反映させる。 <p>【自己評価】</p> <p>コロナ禍でもアプリを活用しSNS参加型の写真コンテストを開催、「まちやまナビ」の活用を上げ、来園者の利便性向上を検討していたが、コロナにより中断している。コロナ収束後、商店街と協議し検討する。</p>	A	事業実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	施設所管課評価は適正である。

III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目

(1) 収支計画の内容、適格性及び実現の程度	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。支出計画に沿った支出配分がなされているか。	<p>【実績】</p> <p>計画通り施行。 平成29、30年度、収益をアプリソフト開発費に充当</p> <p>【自己評価】</p> <p>特に問題なし</p>	A	事業実施計画書に沿った適正な予算管理ができています。	A	施設所管課評価は適正である。
(2) 安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画(応募時に示した管理体制を構築したか)。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○管理事務所 所長1名 副所長2名 事務職員 巡視、作業班 昆虫館受付 を配置。 ○昆虫館 館長1名 副館長1名(昆虫飼育担当) 事務職員(館内案内) 館内展示担当 昆虫飼育担当を配置 <p>【自己評価】</p> <p>予定通り配置</p>	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理体制及び職員体制を構築した。	A	/
	必置技術者等の配置(技術者を配置したか)。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一級造園施工技術資格者 1名 甲種防火管理者資格保持者 1名 <p>【自己評価】</p> <p>予定通り配置</p>	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に必置技術者等を配置した。	A	
	労働災害等未然防止のための管理運営(外注・下請を含む職員の労働災害や維持管理業務に起因する来園者事故など公衆災害の発生はなかったか。また、従業員への安全教育・訓練の実施状況について確認)。	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・労働災害無し ・災害状況下での巡視、倒木多発次期、区間の巡視に際しヘルメット着用を遵守。 ・チェーンソーの防護服の着用 <p>【自己評価】</p> <p>安全管理については朝礼等で徹底している。</p>	A	府営公園管理要領、公園管理マニュアルに沿い、適切に管理・運営を実施し、実施計画書に示した事項を全て実施した。	A	
(3) 安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況(経営状況に問題は無い。指定管理業務の継続に影響を与えないか)。	<p>【実績】</p> <p>各社 経営状況に問題なし</p> <p>【自己評価】</p> <p>経営状態に大きな変化はなく問題はない。</p>	A	構成企業のうち、2社に経営上の課題がある。	B	直近3期に連続して営業利益と当期純利益がマイナスである構成団体及び多額な営業損失を計上している構成団体に注視する必要がある。